ソフトバンク・テクノロジー株式会社

# BUSINESS REPORT

2017.04.01 – 2018.03.31

SoftBank Technology

## トップメッセージ

# ビジネスパートナーとして新たな価値の創造へ

代表取締役社長　阿多 親市

**株主の皆さまへ**

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第2次3か年計画（2017年3月期～2019年3月期）の状況および第30期（2018年3月期）の事業概況についてご説明させていただきます。

### 大きな飛躍に向けた準備も最終段階へ

私たちは、「大きく成長する」という経営方針のもと、お客様の本業成長に貢献する「お客様のビジネスパートナー」に変貌を遂げるため、第2次3か年計画として「クラウドへの集約」「IoTビジネスの開発」を基本戦略に掲げました。

「クラウドへの集約」においては、第1次3か年計画（2014年3月期～2016年3月期）で注力領域に設定した「クラウド」「セキュリティ」「ビッグデータ」を融合して付加価値の高いサービスの提供を目指しております。いつでも、どこからでも、セキュアにコミュニケーションできるクラウド環境の整備が進み、情報流通を活性化する業務システムのクラウド化や、事業部門でのクラウド活用が本格化してきました。これらプロジェクトを対応する中で得られた知見や資産のサービス化や、パートナー協業によるサービス拡販のモデルを確立することで、収益向上に取り組んでまいります。

「IoTビジネスの開発」では、子会社のミラクル・リナックスとサイバートラストを合併し、両社の組込みLinux技術と電子認証・セキュリティ技術を集約。IoTデバイスの安全・安心な利用を実現するセキュアIoTプラットフォームを強化し、政府が主導するセキュリティ・バイ・デザイン（IoTデバイスの設計段階からセキュリティを考慮する考え方）の実現に向けて、パートナーとのアライアンスや実証実験に取り組んでおります。クラウド側は、数ミリ～数十ミリ秒での処理が必要とされる場面を想定したエッジコンピューティング（IoTデバイスとクラウド間での処理）、クラウド、AI等の技術を融合してビッグデータから付加価値を提供可能なビジネスモデルの確立を進めております。

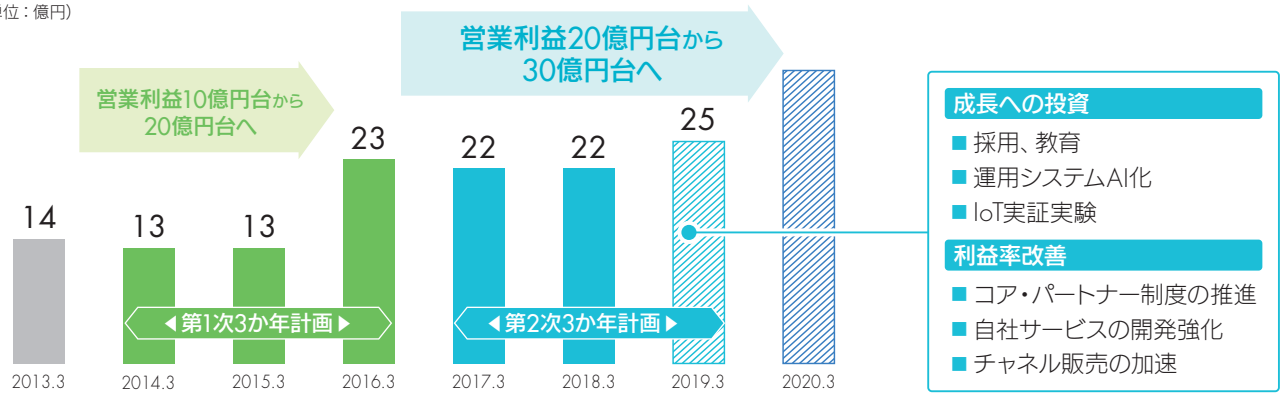
その他、安定した開発リソースを確保するためのコア・パートナー制度の推進やプロジェクト管理力の強化に加えて、運用業務に対して自動化システムの導入や当社のスペシャリストの経験をAIモデル化するなど生産性向上に向けた投資、働き方改革として自社ソリューションをはじめとしたICTの積極活用や社員の成長を支援する制度や環境の整備にも力を注いでいます。

第2次3か年計画の締め括りとなる2019年3月期は、営業利益30億円台に成長するための土台作りを完遂し、売上高520億円（前期比＋5.8%）、営業利益25億円（同＋14.9%）を計画しております。

## 大きく成長するために

**投資継続と利益率改善を推進**

（単位：億円）



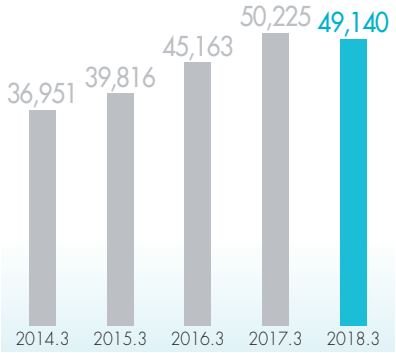
# 連結決算ハイライト

当期は、売上高49,140百万円（前期比△2.2%）、営業利益2,176百万円（同△2.9%）の減収減益となりました。

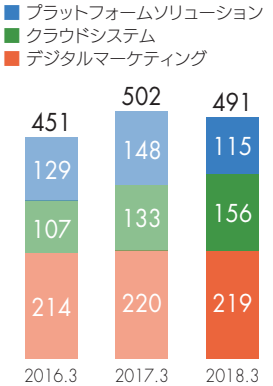
売上高は、クラウドシステム分野は前期比＋17.3%と狙い通り伸長し、デジタルマーケティング分野も堅調に推移しました。

一方で、利益貢献の低い機器販売の一部商材の取り扱いを終了したことにより、プラットフォームソリューション分野が前期比33億円の減収となりました。形態別では、伸ばしていきたい分野である開発・運用サービスが着実に拡大しました。

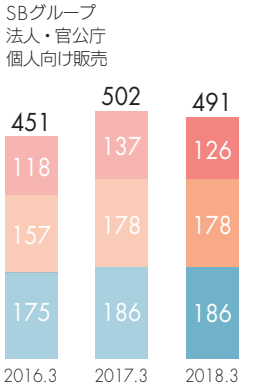
**売上高**（百万円）



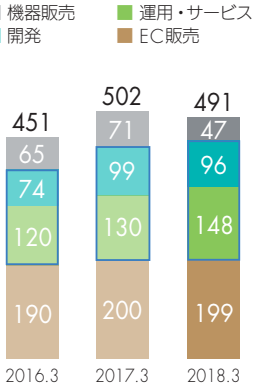

**サービス別売上高**（億円）




**顧客別売上高**（億円）



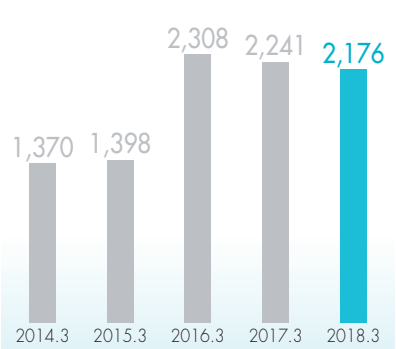

**形態別売上高**（億円）



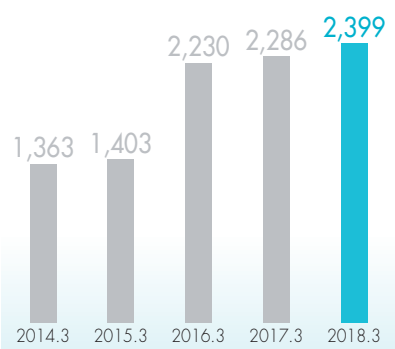

営業利益は、第4四半期の受注を見込み提案活動を行っていた公共ビジネスのプロジェクトが、補正予算が執行されなかったため次期以降にスライドしたこと、また、前期に構築した「自治体セキュリティクラウド」の運用立ち上げフェーズにおいて想定以上の作業工数が発生したこと、社員強化のための積極的な教育投資などが影響しました。技術力の強化という面では、3月末でプロジェクト・マネージメント・プロフェッショナル（PMP）取得者が136名、マイクロソフト社の最上位資格者が49名、セキュリティ関連の高度資格取得者が38名となり、上級IT資格者数は350名となりました。

経常利益は持分法投資利益の増加に伴い、増益となりました。

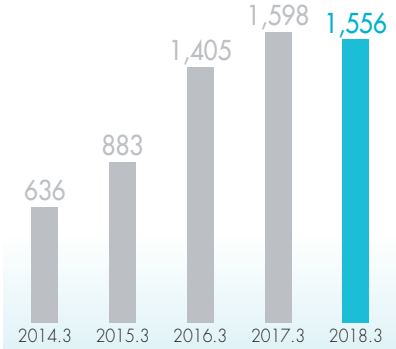
**営業利益**（百万円）



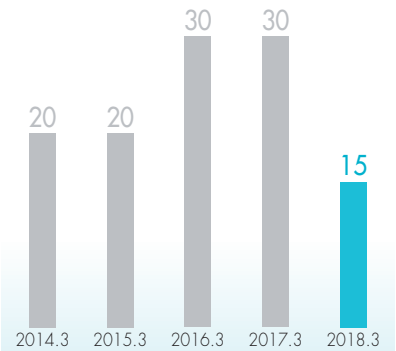

**経常利益**（百万円）



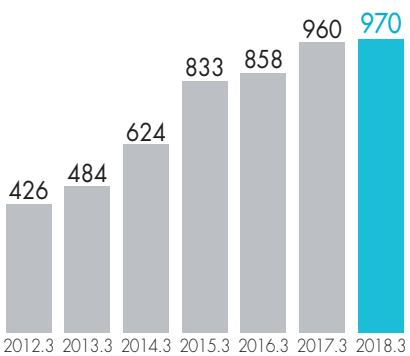

**親会社株主に帰属する当期純利益**（百万円）



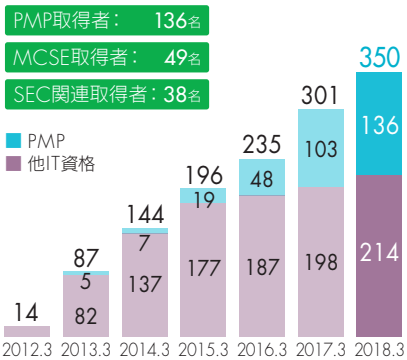

**1株当たり配当金※**（円）




**従業員数**（名）




**上級IT資格数**（名）




記載金額は表示単位未満を切り捨てております。

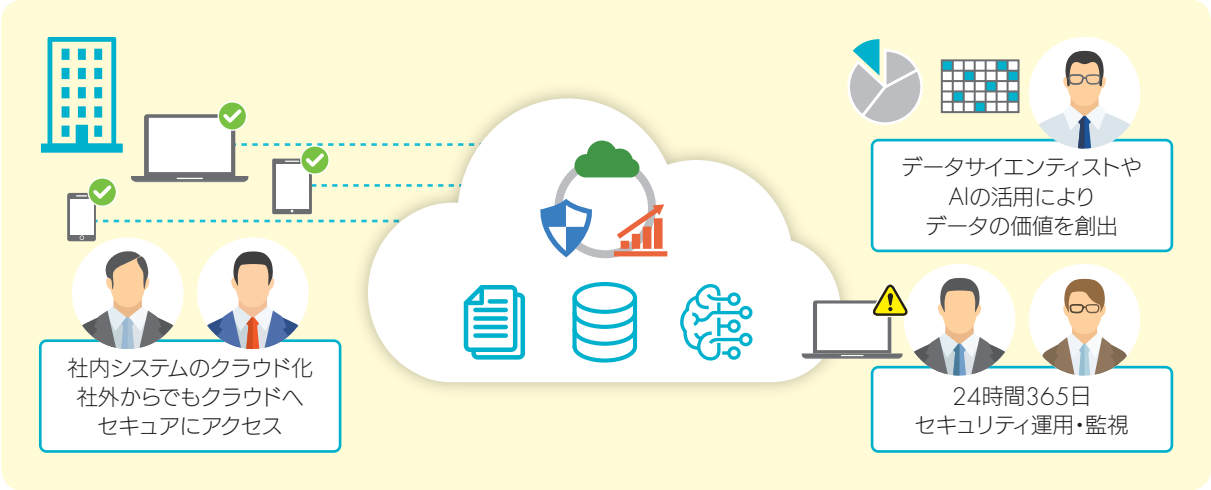
※2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前期実績の1株当たりの配当金については、当該分割前の実際の配当金額を記載しております。
株式分割を考慮した場合、前期実績の期末配当金は、1株当たり15円00銭となります。株式分割前に換算すると1株につき30円00銭となり、前期と同額になります。

# お客様のビジネスパートナーへ

私たちは、ITによるコスト低減提案を行うITベンダーとしての立ち位置に留まりません。お客様の事業や業務、課題を正しく理解し、企業のIT戦略の補佐として収益向上に向けたさまざまな取り組みを同じ目線で考えられるビジネスパートナーを目指しています。私たちの強みであるシステムのクラウド化で付加価値を提供し、AIやIoTといった先端技術の知見をもってお客様の本業成長や新事業創出に貢献します。

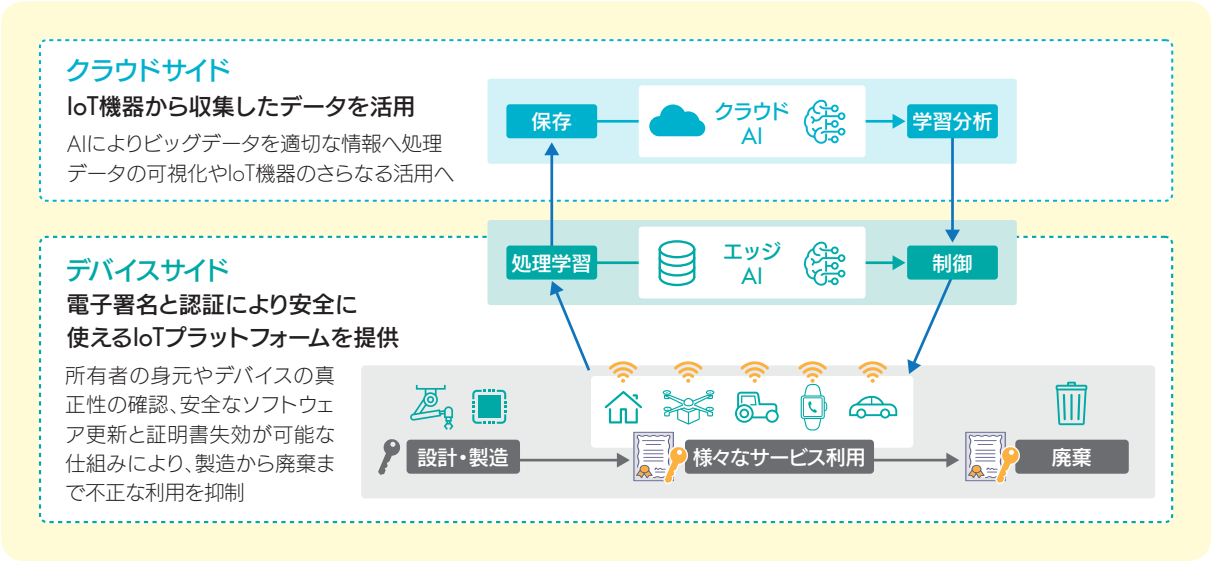
# クラウドへの集約

私たちは、従来のクラウドの導入・開発だけでなく、クラウドを安全に利用するために欠かせないあらゆるセキュリティ対策、クラウドに蓄積されたビッグデータの解析などをクラウドに集約し、ワンストップで提供することで付加価値を高め、お客様の事業成長に貢献していきます。




# IoTビジネスの開発

私たちは、IoT時代にもっとも必要とされる企業グループを目指しています。クラウドサイドでは、クラウドとビッグデータ、AIを組み合わせたデータの可視化やIoT機器のさらなる活用に新たな価値を創出し、デバイスサイドでは、IoT機器の製造段階から廃棄まで安全に利用できるプラットフォームを提供します。



事業トピックス

# 最新の取り組みを紹介

## クラウドソリューションの導入実績 800社150万ユーザーを突破

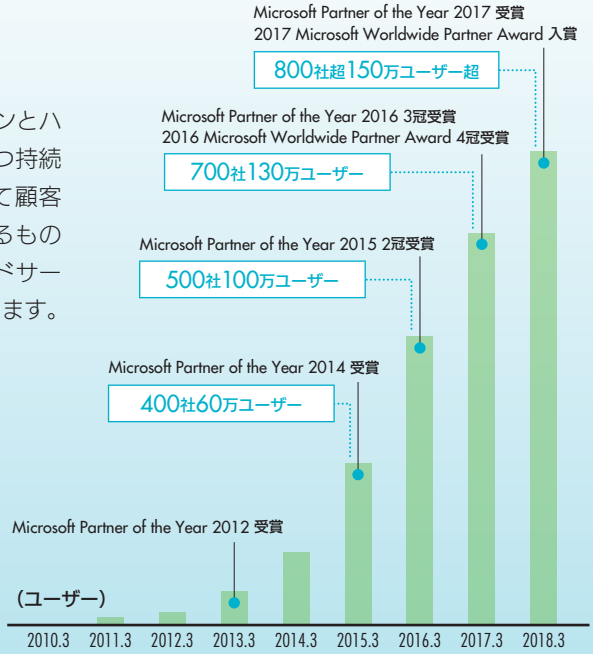
（2018年3月末時点）

### マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2017 『Cloud Productivity アワード』受賞

Microsoft Office 365 のクラウド ソリューションとハイブリッド ソリューションの展開で、実質的かつ持続可能な成長を遂げ、大きな影響と満足度によって顧客による導入を促進したパートナー企業へ贈られるものです。SBTは独自ソリューションの開発やクラウドサービスの導入実績が評価され、4年連続の受賞となります。

### 2017 Partner of the Year Awards 『Collaboration and Content Partner of the Year』入賞

Microsoft SharePointに関連する顧客ソリューションの提供で優れた実績をあげたパートナー企業に贈られるものです。SBTは同賞において国内企業で唯一ファイナリストに選出され、また同時に日本企業の入賞は今回が初めてとなります（自社調べ）。昨年の4部門での受賞と1部門入賞に続き、SBTの技術力や実績が2年連続でグローバルに高い評価を受けました。

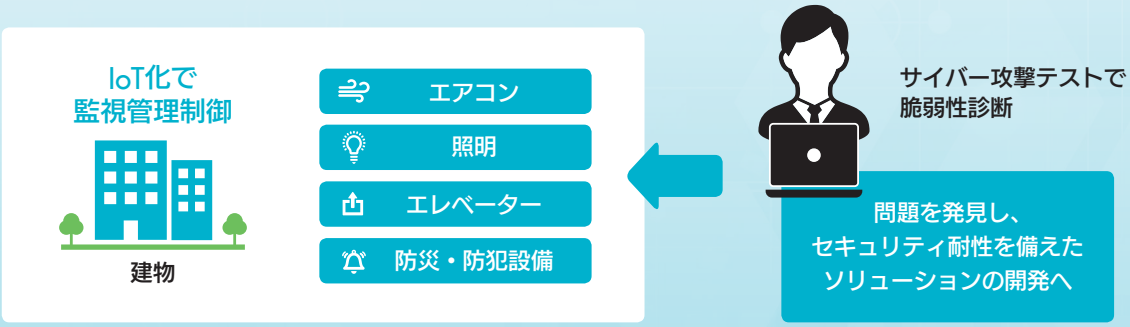



※クラウド導入実績は、Microsoft Office 365・Microsoft Dynamics 365・Online Service Gate・ADFS on Cloud・Sitecore on Cloud等の導入実績総数です。

## 株式会社竹中工務店と、建物のIoT機器を守るための共同施策を実施

昨今、ビルディングオートメーションシステムと呼ばれる建物のIoT化が進んでいます。これは建物内を安全で快適な状態に保ち、建物全体のエネルギー省力化や管理業務の省力化を目的とし、空調設備や電気設備、各種センサーなどのさまざまな機器をネットワークに繋げ、離れたところから監視・管理・制御を行います。しかしこれらの機器がネットワークに繋がることで、建物内の設備がサイバー攻撃の対象となり、乗っ取りや利用停止といった被害を受ける可能性があります。

こうした事態を防ぐため、竹中工務店と共同で建物のセキュリティ脆弱性診断を実施しました。この結果をもとにIoT化した建物を守るIoTセキュリティソリューションの開発を推進していきます。



# 企業のサイバーレジリエンスを支えるSBTのセキュリティサービス

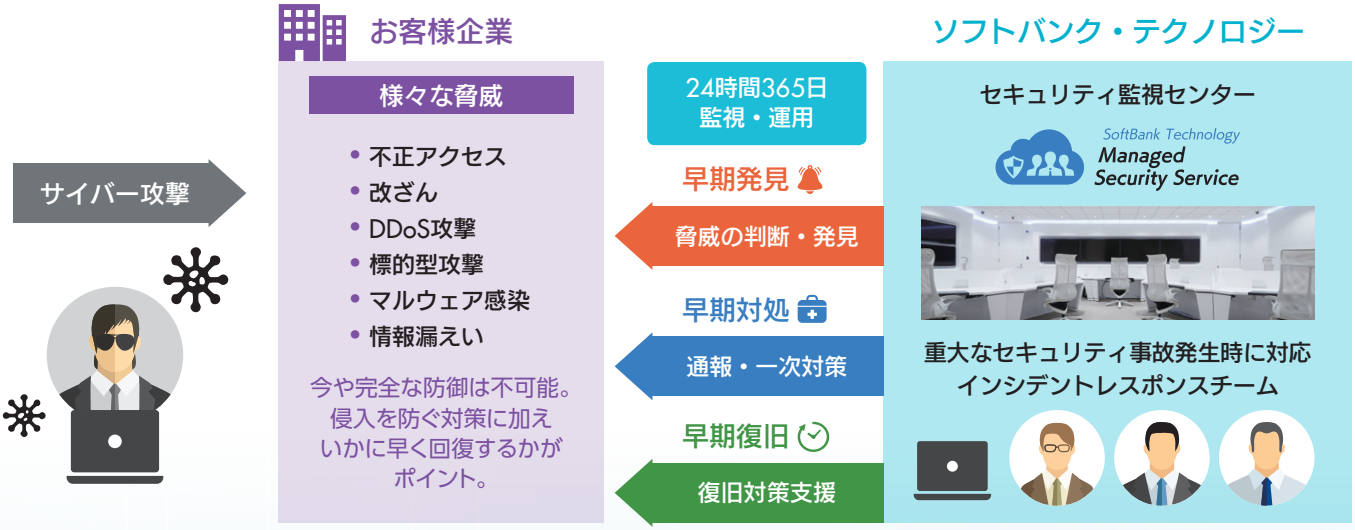
## “防御力” から “回復力” へセキュリティの考え方に変化

2017年11月に経済産業省より発表された「サイバーセキュリティ経営ガイドライン2.0」では、新しく「攻撃の検知」や「サイバー攻撃を受けた場合の復旧の備え」といった項目が追加されました。サイバー攻撃による侵入を防ぐ対策だけでなく、侵害されることを前提とした対策や、企業・組織が被害を受けた際にいかに素早くビジネスを再開できるかといった、攻撃への抵抗力を強化するサイバーレジリエンス（回復力）の重要性が高まっています。

そのような中、私たちは、インシデント発生時に原因解析や影響範囲の調査を行う組織（CSIRT）の構築支援をはじめ、お客様のシステムなどを24時間365日監視・運用し、異常の早期発見や一次対策などを総合的に行うマネージド・セキュリティ・サービス（MSS）の提供を通じて、お客様のビジネスを支えています。

重大なセキュリティ事故が発生した際は、被害を最小限に留めつつ復旧対応支援・各種原因調査を行う緊急対応チームが、お客様の事業継続を支援します。

現在はセキュリティアナリストのノウハウのAI化による、精度向上にも取り組んでいます。




**早期発見・早期対処・早期復旧で、お客様事業の “回復力” を強化**

## イベントレポート 「SoftBank Technology Forum 2017」開催

2017年11月22日（水）に「SoftBank Technology Forum 2017」を虎ノ門ヒルズ（東京都港区）で開催しました。

本イベントは年1度開かれるSBT最大の顧客向けイベントです。毎年、多彩なゲストスピーカーの講演や導入事例発表、展示などを通じて、SBTグループが提供する最先端のソリューションを紹介しています。

13回目の開催となった今回は、IoT・セキュリティをはじめとした最先端のソリューションや事例を紹介する6つの講演、グループ企業やパートナー企業による展示が行われました。

▶詳細はこちらをご覧ください
https://www.softbanktech.jp/information/2018/20180110-01/

# What is SBT?

## グループストラクチャー

### 「情報革命で人々を幸せに」～技術の力で、未来をつくる～

私たちは、急速に変化するIT市場に身をおき、先進的な技術を常に捉えながら、技術の発展とともに事業を変革してまいりました。2012年以降、新しい経営体制で「大きく成長すること」を掲げ、M&Aを強化。独自の技術を持つ企業を仲間に加え、SBTグループとして技術の幅を広げるとともに、グループシナジーによる優位性を強化しながら進化を続けています。

ソフトバンクグループ（株）
ソフトバンクグループ インターナショナル合同会社
ソフトバンク（株）※1

SoftBank Technology　独自のIT技術を保有する専門家集団

**M-SOLUTIONS株式会社**
システムの設計・開発・運用および、モバイル・Pepper・IoT機器用等のアプリ開発

**フォントワークス株式会社**
PCや様々なIoT機器で、見やすく・美しく表示されるデジタル書体（フォント）を開発

**株式会社環**
Webサイトのデータを分析・活用するためのツール開発および教育事業

**サイバートラスト株式会社※2**
IoTをはじめとするセキュリティ認証事業および組込みソフトウェア事業

**アソラテック株式会社**
農林水産省の委託事業として全国の農地情報を集約した「全国農地ナビ」の開発・運用

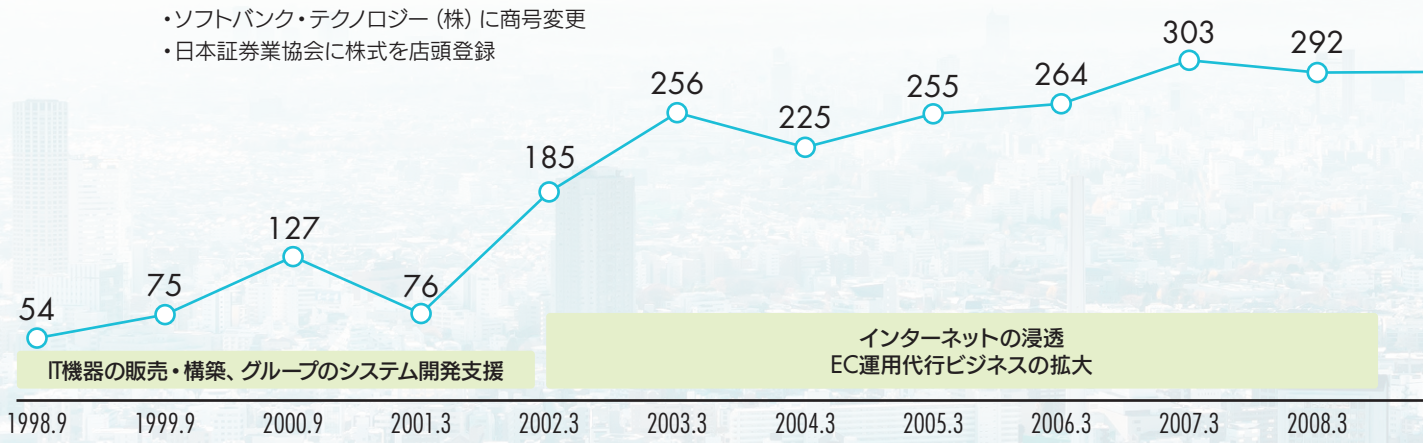
**リデン株式会社**
農業への新規参入や規模拡大など成長産業化を支援するためのICTサービス

NEWS & TOPICS ニュース&トピックス

※1　2018年4月1日付で、ソフトバンクグループインターナショナル合同会社は、保有する当社株式の全てをソフトバンク株式会社に現物出資しました。これにより、ソフトバンク株式会社が当社の親会社に該当することになりました。
※2　2017年10月1日付でミラクル・リナックス株式会社を存続会社とする旧サイバートラスト株式会社の吸収合併および社名変更を完了し、「サイバートラスト株式会社」として業務を開始しました。

## 売上拡大の軌跡

■ **売上高**（単位：億円）



## SBTの従業員

2018年度の新卒社員を迎え、2018年4月1日時点で連結従業員数は1,000名を突破しました。SBTには、ITに精通したプロフェッショナルが多数在籍し、お客様のビジネスや業務を支えています。また、セキュリティリサーチャーやデータサイエンティストといった専門家による講演活動やメディア・官公庁への情報提供なども行っています。

上級IT資格保有数：350※3　18年新卒：46名　女性比率：17.5%※4　平均年齢：37.3歳※4

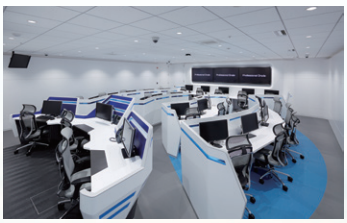
※3　SBT単体、2018年3月末時点におけるプロジェクト管理や情報セキュリティの国際的な認定資格、マイクロソフトのシステムエンジニア最上位資格などの保有数
※4　SBT単体、2018年3月末時点

## オフィス環境

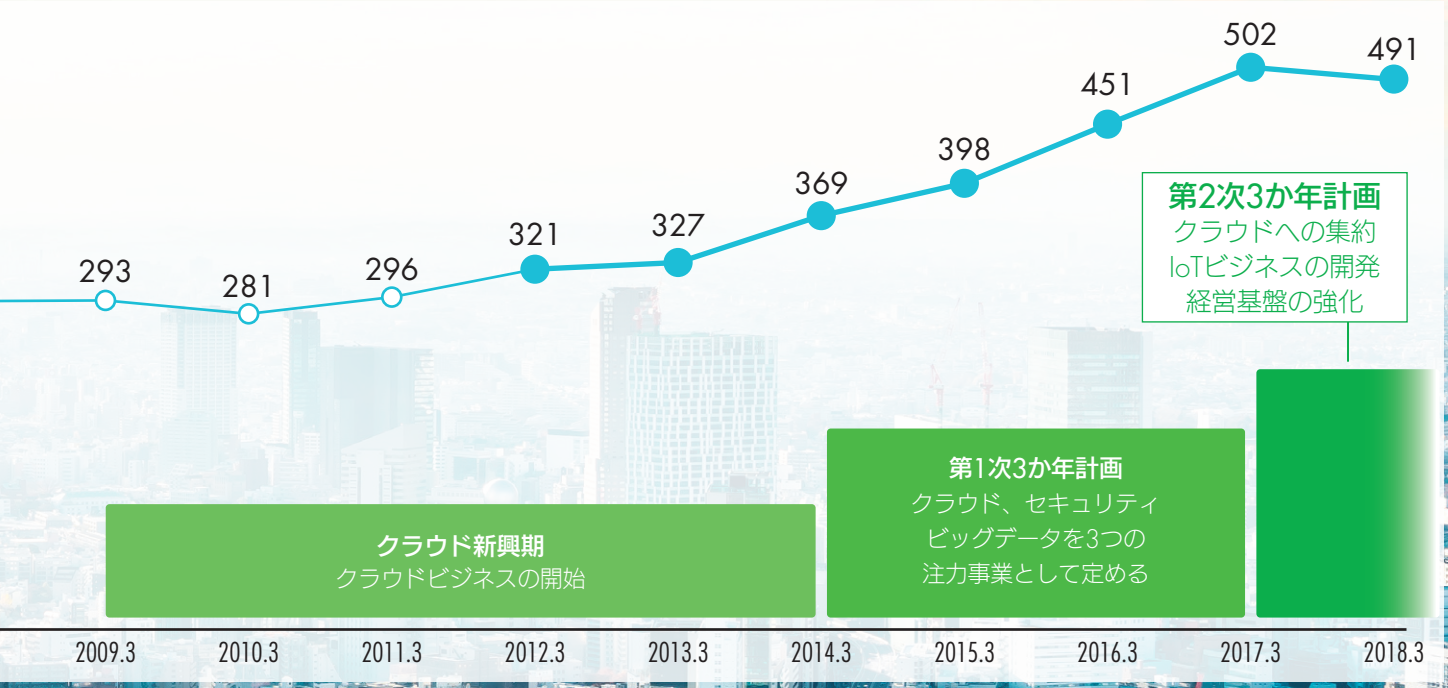
仕切りや壁をなくしフリースペースが広く取られたオフィス。何気ない会話から、全く新しいアイデアが生まれることも。プレゼンテーションルームでは他拠点と繋ぎ、5画面で多角分析しながら経営会議など様々な議論が行われています。

## SBTの特徴

ずばり高い技術力です。高度なIT資格の保有者は350名を超え、国内外のITメーカーから多くのAwardやMVPを受賞。その他にも、24時間365日稼働するネットワークやセキュリティの運用監視センターもあり、日夜お客様システムの安全を守っています。


ネットワーク監視センター

セキュリティ監視センター



Business

# GROWTH

社員の大きな成長が、
SBTの大きな成長の原動力。

## 働き方改革

### オン/オフ切り替え（メリハリ）
- コアタイムなしフレックス制度
- プロジェクトコンプリート休暇

### 成長支援（優秀な人材の確保・維持）
- 新入社員グレードスキップ制度
- 資格取得支援

### ICT活用（時間の削減と創出）
- 業務システムクラウド化による組織横断の情報共有
- Web会議、モバイル活用

### 全社員フレックスタイム制に移行し、プレミアムフライデーも運用中

### 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定の最高位を取得

## 相互理解の「場」

### 全社朝礼
毎月開催、社長からのメッセージや全社取り組みに関するアナウンスを実施

### 1on1ミーティング
定期的（年間8回以上）に上司と部下でキャリアや目標、課題等に関する相談を実施

### 全社大会
毎年開催し、1年間の振り返り、今後の方針説明、活躍した社員の表彰などを実施

### ファミリーデー
学校の夏休み期間に社員の家族を招待し、オフィスツアーやイベントを実施

### SBT塾
月2回程度の頻度で、役員や本部長、ベテラン社員や各分野の専門家が社内講師となり講演を実施

## 当社役割の変革

クラウドシステムの開発案件数と案件規模が拡大。ビジネスやIT戦略の企画、あるいはプロジェクト管理といった上流工程の重要性が高まっています。これらの期待に応えていくために、プロジェクト管理力の強化やシステム、セキュリティ運用でのAI活用、パートナーとのリレーション強化に取り組んでいます。

**企画**

**お客様CIOや企画担当者との定例会議実施**
- 真の業務と課題を把握
- お客様ビジネスの価値向上、生産性向上
- AIやIoT等を利用した実証実験の提案

**プロジェクト管理**

**要件定義**

**プロジェクト管理力の強化**
- PMP資格取得の推進
- Project管理専門部隊の拡大

**導入**

**パートナーの集約とノウハウ共有**

**運用**

**先端技術の活用**
- 自動化推進、業務の自動化
- 専門家の経験をAI化

## 先端技術実用化への挑戦

お客様やパートナーと共に、AIやIoTといった先端技術を利用した新しい価値の創出に向けた実証実験などを行っています。

### ビル・工場の設備
建物内で利用されている計装設備の制御や、ビル全体の電力消費予測設備、セキュリティ対策など

### ヘルスケア
ウェアラブルデバイスで収集したバイタルデータなどの分析、可視化

### 小売り・流通
商品の販売情報と発送状況を追跡し、在庫切れを防止する取組など

### 農業・エネルギー
ドローンとビッグデータを活用した映像解析、屋外施設や生産物の管理など

# 会社情報・株式情報

## 会社概要

(2018年3月31日現在)

| | |
|---|---|
| 商号 | ソフトバンク・テクノロジー株式会社 |
| 本店所在地 | 東京都新宿区新宿六丁目27番30号 |
| 事業内容 | ICTサービス事業 |
| ホームページ | http://www.softbanktech.co.jp/ |
| 資本金 | 885百万円 |
| 従業員数 | 連結970名 |

## 役 員

(2018年6月18日現在)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 代表取締役社長 | 阿多　親市 | 常勤監査役(社外) | 上野　光正 |
| 取締役 | 佐藤　光浩 | 監査役(社外) | 廣瀬　治彦 |
| 取締役 | 後藤　行正 | 監査役(社外) | 中野　通明 |
| 取締役 | 喜多村　晃 | 監査役 | 内藤　隆志 |
| 取締役 | 児玉　　崇 | | |
| 取締役(社外) | 鈴木　茂男 | | |
| 取締役(社外) | 宗像　義恵 | | |

## 株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 期末配当金基準日 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 | みずほ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | みずほ信託銀行　証券代行部<br>〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>TEL.0120-288-324(フリーダイヤル) |
| 上場取引所 | 東証第一部(コード番号 4726) |
| 公告方法 | 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。<br>http://www.softbanktech.co.jp/ |

**お知らせ**

1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
(特別口座管理機関　連絡先)
三菱UFJ信託銀行　証券代行部
TEL.0120-232-711 (フリーダイヤル)

3) 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店、みずほ銀行本支店およびみずほ証券本支店でお受付けいたします。

## 株式の状況

(2018年3月31日現在)

| | |
|---|---|
| 発行可能株式総数 | 85,121,600株 |
| 発行済株式の総数 | 22,085,600株 |
| 株主数 | 5,500名 |

## 大株主

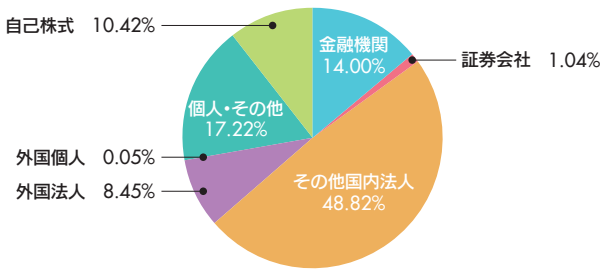
(2018年3月31日現在)

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|---|---|---|
| ソフトバンクグループ<br>インターナショナル合同会社 | 10,735,000 | 54.26 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行<br>株式会社(信託口) | 1,719,000 | 8.69 |
| 日本マスタートラスト信託銀行<br>株式会社(信託口) | 636,100 | 3.22 |
| 石川　憲和 | 240,000 | 1.21 |
| ビービーエイチ フオー フイデリテイ<br>ロープライスド ストツク フアンド | 234,300 | 1.18 |
| チェース マンハッタン バンク ジーティーエス<br>クライアンツ アカウント エスクロウ | 178,384 | 0.90 |
| CACEIS BANK LUXEMBOURG<br>BRANCH/UCITS CLIENTS | 166,476 | 0.84 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行<br>株式会社(信託口5) | 155,600 | 0.79 |
| オーディー11エスエスビークライアント<br>オムニバス88163 | 150,700 | 0.76 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行<br>株式会社(信託口1) | 143,800 | 0.73 |

※持株比率は、自己株式(2,301,242株)を控除して計算しています。
※ソフトバンクグループインターナショナル合同会社は、2018年4月1日付で保有する当社株式の全てをソフトバンク株式会社に現物出資しました。これにより、ソフトバンク株式会社が当社の大株主に該当することになりました。

## 所有者別持株比率

(2018年3月31日現在)





**ソフトバンク・テクノロジー株式会社**
〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号
新宿イーストサイドスクエア 17階
TEL　03-6892-3063 (IRお問合せ)
URL　http://www.softbanktech.co.jp/
お問合せ先　経営企画本部　経営企画部
MAIL　sbt-ir@tech.softbank.co.jp



※記載されている会社名、ロゴ、製品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
※本紙では、フォントワークス㈱のフォントを使用しています。
Copyright© SoftBank Technology Corp. All Rights Reserved.